

2030さいたま
輝く未来と希望のまちプラン

さいたま市総合振興計画 基本計画

実施計画

2021

令和3年度



2025

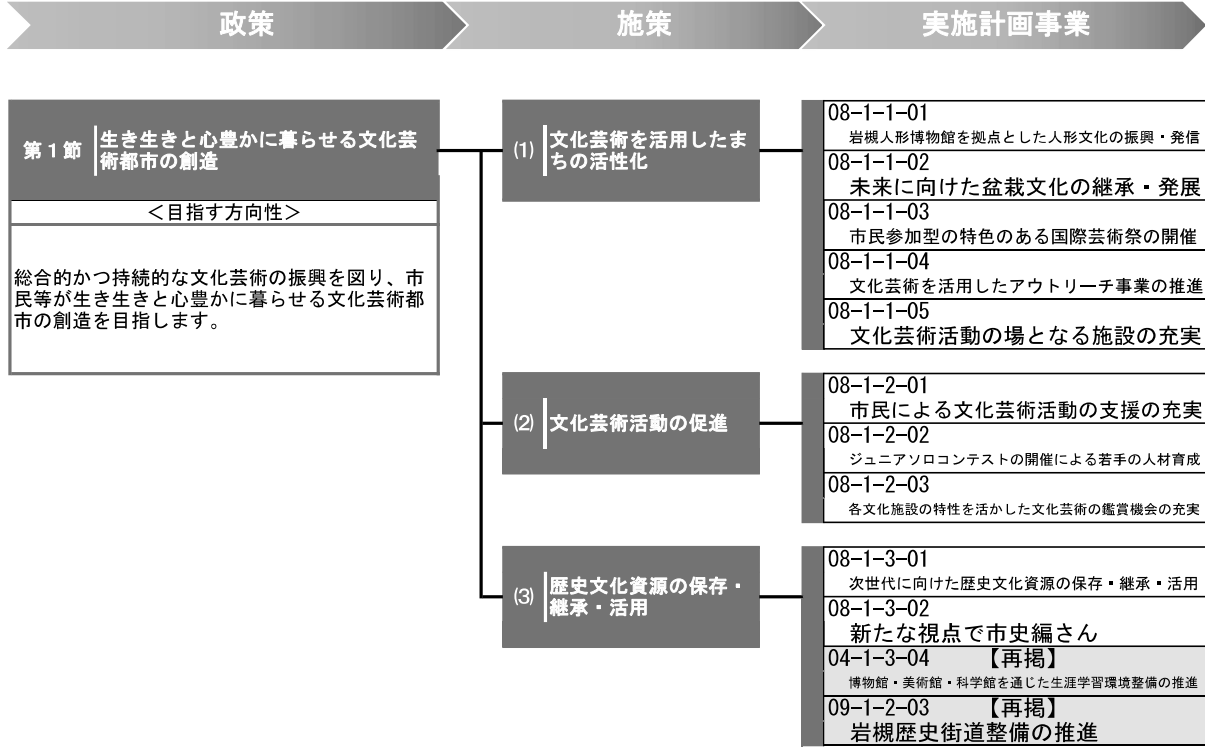
令和7年度

令和3年3月

さいたま市

第8章 文化

政策と施策の体系



施策	08-1-1			
文化芸術を活用したまちの活性化			施策マネジメント局	施策マネジメント課
			スポーツ文化局	文化振興課
			目標値	
		成果指標	実績	
			令和7年度	令和12年度
1	文化芸術に親しめるまちであると感じる市民の割合(「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答える市民の割合)	61.9% (令和2年度)	65%	67%

実施計画事業		
事業コード	事業名	事業概要
重点戦略		
1 08-1-1-01	岩槻人形博物館を拠点とした人形文化の振興・発信	人と人形の歴史を調査・研究し、その成果について、展示や講座の開催、広報・プロモーションを行うなど、人形文化の振興に資する取組を実施します。
2 08-1-1-02	未来に向けた盆栽文化の継承・発展	庁内関係部局や関連団体等と連携し、盆栽関連イベントやワークショップの開催、SNSなど様々な広報ツールを活用した情報発信など、盆栽文化の発展に資する取組を実施します。
3 08-1-1-03 戦略2戦術5	市民参加型の特色のある国際芸術祭の開催	これまでの国際芸術祭で生まれた市民の文化芸術活動をレガシーとして継続し、充実させていくとともに、本市の魅力ある文化資源を活用し、さいたま文化を発信するほか、文化芸術を活用した多様な交流を促進するため、市民参加型の特色のある国際芸術祭を開催し、市民等が文化芸術に触れる機会を創出します。
4 08-1-1-04	文化芸術を活用したアウトリーチ事業の推進	地域コミュニティの活性化を図り、市民が気軽に文化芸術と触れ合える環境を実現するため、市内の学校や施設、団体等、地域の様々な場所に芸術家等を派遣して、ワークショップやミニコンサート等を実施します。
5 08-1-1-05	文化芸術活動の場となる施設の充実	市民等の多様化するニーズに応えるため、移転整備し、機能が向上した市民会館うらわ及び市民会館おおみやを、本市の文化施策及び市民の文化芸術活動の中心的役割を担う拠点施設に位置付け、各拠点施設の特性を生かした長期的な方針に基づく一体的な運営による連携事業等を行うことにより、施設機能を強化します。

事業		08-1-1-01	岩槻人形博物館を拠点とした人形文化の振興・発信					
重点戦略			他施策への貢献（再掲先）					
事業課		岩槻人形博物館						
事業目的		人と人形の歴史を調査・研究し、その成果について広く公開することにより、本市の魅力ある資源である人形文化を振興します。						
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・岩槻人形博物館における展示や講座を開催します。 ・広報・プロモーションを実施します。 ・キャッシュレス化を推進します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、新しい生活様式に対応した博物館の管理運営や事業実施に関する取組を実施します。 						
目標指標		実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	岩槻人形博物館 来館者数	—	77,000人	74,000人	74,000人	74,000人	74,000人	令和7年度まで 74,000人を達成・維持
(2)								
(3)								

事業		08-1-1-02	未来に向けた盆栽文化の継承・発展					
重点戦略			他施策への貢献（再掲先）		11-2-1			
事業課		都市経営戦略部	大宮盆栽美術館	観光国際課	商業振興課			
事業目的		伝統産業としての盆栽業の支援、市の誇る文化としての盆栽ブランドの確立、盆栽村の聖地化を推進することにより、本市の魅力ある地域資源である盆栽文化を振興します。						
事業内容		<p>庁内関係部局や関連団体等と連携し、盆栽関連イベントやワークショップの開催、SNSなど様々な広報ツールを活用した情報発信など、盆栽文化の発展に資する取組を実施します。また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、新しい生活様式に対応した美術館の管理運営や事業実施に関する取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮盆栽美術館における展示や講座を開催します。 ・各種盆栽関連イベントやワークショップを開催します。 ・さいたま国際盆栽アカデミーを実施します。 ・ICTを活用した情報発信をします。 ・キャッシュレス化を推進します。 						
目標指標		実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	大宮盆栽村の認知度（①市内在住者、②在勤者）	①77.1% ②50.8% （令和元年度）	①78% ②51%	①79% ②52%	①80% ②53%	①81% ②54%	①82% ②55%	令和7年度までに①82%、②55%
(2)	大宮盆栽美術館 来館者数	63,208人 （令和元年度）	74,000人	72,000人	73,000人	74,000人	75,000人	令和7年度までに75,000人
(3)								

事業		08-1-1-03 市民参加型の特色のある国際芸術祭の開催						
重点戦略		戦略2 戦術5		他施策への貢献（再掲先）				
事業課		国際芸術祭開催準備室						
事業目的		市民等が文化芸術に触れる機会を増やすとともに、本市の文化芸術を広く発信することにより、市民が自主的・主体的に行う文化芸術活動の促進と、本市のイメージアップを目指します。						
事業内容		<p>これまでの国際芸術祭で生まれた市民の文化芸術活動をレガシーとして継続し、充実させていくとともに、本市の魅力ある文化資源を活用し、さいたま文化を発信するほか、文化芸術を活用した多様な交流を促進するため、市民参加型の特色のある国際芸術祭を開催し、市民等が文化芸術に触れる機会を創出します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民サポーターの活動を支援し、市民プロジェクトを継続します。 令和5年度の国際芸術祭開催に向けた検討を行います。 						
目標指標		実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	市民サポーター活動、市民プロジェクト、国際芸術祭の参加者数	251,337人 (令和元年度)	20,000人	22,500人	325,000人	27,500人	30,000人	令和7年度までの5年間で 425,000人
(2)	国際芸術祭の経済効果	開催見送りに よ り不明 (令和元年度)	—	—	30億円	—	—	令和5年度に30 億円
(3)								

事業		08-1-1-04 文化芸術を活用したアウトリーチ事業の推進						
重点戦略				他施策への貢献（再掲先）				
事業課		文化振興課						
事業目的		地域コミュニティの活性化を図るため、芸術家等が地域に赴いて文化芸術に関するアウトリーチ事業を実施することにより、市民と芸術家等との交流や、幅広い分野における連携を促進し、市民が気軽に文化芸術と触れ合える環境を実現します。						
事業内容		市内の学校や施設、団体等、地域の様々な場所に芸術家等を派遣して、盆栽、漫画、人形等の本市の魅力ある資源を活用したワークショップや、ミニコンサート等を実施します。						
目標指標		実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	アウトリーチによる文化芸術イベント等の実施件数	29件 (令和元年度)	30件	30件	30件	30件	30件	令和7年度までの5年間で150件
(2)								
(3)								

事業	08-1-1-05	文化芸術活動の場となる施設の充実					
重点戦略		他施策への貢献（再掲先）					
事業課	文化振興課						
事業目的	市民等の多様化する文化芸術活動を支えることができるよう、文化施設機能の充実を目指します。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等の多様化する文化芸術活動を支える中心的役割を担う拠点施設に機能移転後の市民会館うらわ及び市民会館おおみやを加え、拠点機能を強化するとともに、拠点施設間及び他の文化施設との有機的連携を構築し、文化芸術活動環境の充実を図ります。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、キャッシュレス支払いの導入を検討する等、新しい生活様式に対応した施設管理を行います。 						
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 文化施設利用者の満足度	65.5% (令和元年度)	67%	68%	69%	70%	71%	令和7年度までに71%
(2)							
(3)							

施策		08-1-2		
文化芸術活動の促進		施策マネジメント局	施策マネジメント課	
		スポーツ文化局	文化振興課	
		目標値		
		令和7年度	令和12年度	
1	文化芸術活動(鑑賞を含む)を行う市民の割合(過去1年間に1回以上の文化芸術活動(鑑賞を含む)を行った市民の割合)	65.4% (令和2年度)	70%	75%

実施計画事業			
	事業コード	事業名	事業概要
	重点戦略		
1	08-1-2-01	市民による文化芸術活動の支援の充実	市民等が自主的・主体的に行う文化芸術活動を支援し、生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市を創造するため、市内の文化芸術団体に対する補助金交付や、さいたま市美術展覧会の開催を始めとした文化芸術活動の発表機会の提供等を行います。
2	08-1-2-02	ジュニアソロコンテストの開催による若手の人材育成	子どもたちの文化芸術の創造や活動に対する意欲を高めるとともに、次代の文化芸術都市創造を担う人材を育成するため、市内在住・在学の小・中学生を対象に、管楽器・打楽器・コントラバスによる独奏のコンテストを行います。
3	08-1-2-03	各文化施設の特性を活かした文化芸術の鑑賞機会の充実	指定管理者のノウハウを活用し、各文化施設の立地条件やホール規模、施設の特性を踏まえ、市有施設最大のホールを持つ文化センターでの本格的な音楽鑑賞事業、能舞台を有する氷川の杜文化館での伝統文化鑑賞事業など、多様な「文化芸術鑑賞事業」を実施します。

事業	08-1-2-01	市民による文化芸術活動の支援の充実					
重点戦略		他施策への貢献（再掲先）					
事業課	文化振興課						
事業目的	市民等が自主的・主体的に行う文化芸術活動を支援することにより、生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造を目指します。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内の文化芸術団体に対する補助金交付や、さいたま市美術展覧会の開催を始めとした文化芸術活動の発表機会の提供等、市民等の文化芸術活動を支援するための事業を実施します。 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、SNSを活用した文化芸術活動への支援等、新しい生活様式に対応した活動に対する支援を検討します。 						
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	補助金を活用して市民等が実施した文化芸術事業の件数 66件 (令和元年度)	70件	70件	70件	70件	70件	令和7年度までの5年間で350件
(2)	さいたま市美術展覧会の出品者数 557人 (令和元年度)	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	対前年度比 1%増	令和7年度までの5年間で出品者数を令和元年度比で5%以上増やし、減少傾向を抑止
(3)							

事業	08-1-2-02	ジュニアソロコンテストの開催による若手の人材育成					
重点戦略		他施策への貢献（再掲先）					
事業課	文化振興課						
事業目的	子どもたちの文化芸術の創造や活動に対する意欲を高めるとともに、次代の文化芸術都市創造を担う人材の育成を目指します。						
事業内容	市内在住・在学の小・中学生を対象に、管楽器・打楽器・コントラバスによる独奏のコンテストを行います。						
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	出場者が、コンテストを通じて自身 が成長することが できたと感じる割合	53%	54%	55%	56%	57%	令和7年度までに57%
(2)							
(3)							

事業	08-1-2-03	各文化施設の特性を活かした文化芸術の鑑賞機会の充実					
重点戦略		他施策への貢献（再掲先）					
事業課	文化振興課						
事業目的	市民等の多様化する文化芸術活動に対応するため、各施設の特性を生かした多様な鑑賞事業を実施することにより、ニーズに応えた鑑賞機会の充実を目指します。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者のノウハウを活用し、各文化施設の立地条件やホール規模、施設の特性を踏まえ、市有施設最大のホールを持つ文化センターでの本格的な音楽鑑賞事業、能舞台を有する氷川の杜文化館での伝統文化鑑賞事業など、多様な「文化芸術鑑賞事業」を実施します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、動画配信による鑑賞事業など、新しい生活様式に対応した事業を実施します。 						
目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 参加者が事業内容に満足した割合	91.9% (令和元年度)	90%	90%	90%	90%	90%	令和7年度までの5年間90%を維持
(2)							
(3)							

施策		08-1-3			
歴史文化資源の保存・継承・活用				施策マネジメント局	施策マネジメント課
				教育委員会	文化財保護課
		成果指標	実績	目標値	
				令和7年度	令和12年度
1	歴史文化資源に愛着を感じ大切に思う市民の割合		80.0% (令和2年度)	82%	85%

実施計画事業			
	事業コード	事業名	事業概要
	重点戦略		
1	08-1-3-01	次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用	国指定史跡の整備や特別天然記念物の保全を推進するとともに、その成果を教育やまちのにぎわいなどに活用し、郷土への関心、愛着をばぐみます。さらに、新たに「文化財保存活用地域計画」を策定することで、歴史文化資源の保存・継承・活用の持続可能なサイクルを確立します。
2	08-1-3-02	新たな視点で市史編さん	市の歴史的変遷の過程を記録し未来へ継承するために、さいたま市をひとつの地域として捉える新たな視点で「さいたま市史」を編さんします。また、歴史資料を収集し、適切に整理・保存するとともに、市民共有の知的資源として活用を図ります。
3	04-1-3-04 【再掲】 P148	博物館・美術館・科学館を通じた生涯学習環境整備の推進	市民が質の高い生涯学習に取り組めるよう、各生涯学習関連施設において資料等の整備を行うとともに、利活用を促進するため情報発信を行います。また、講座・講演会等の催しを実施することで、多種多様な学びの機会を提供します。さらに、市立小中学校等を対象に体験的な学びの機会を提供します。
4	09-1-2-03 【再掲】 P233	岩槻歴史街道整備の推進	岩槻駅周辺において、まちの成り立ちなどに意義のある既存道路の歴史的価値を見出すとともに、沿道の歴史的・文化的資源を活用し、歴史街道にふさわしいまちなみ景観を誘導するなど、“まちなみづくり”と“みちづくり”を住民と協働で推進します。

事業		08-1-3-01					次世代に向けた歴史文化資源の保存・継承・活用	
重点戦略					他施策への貢献（再掲先）			
事業課		文化財保護課						
事業目的		文化財等の歴史文化資源を活用しながら、次の世代に向けて大切に保存・継承します。						
事業内容		<p>先人たちが伝えてくれた「市の宝」である歴史文化資源の保存と活用を通じて、郷土への関心、愛着をはぐくみ、次の世代へと確実に継承していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡「見沼通船堀」の再整備を実施して保存を確実にするとともに、閘門開閉実演を開催して「見沼通船堀」の活用を進めます。 ・国指定史跡「真福寺貝塚」の発掘調査を実施してその実像を解き明かします。その成果を今後の保存・活用に生かしながら、現地見学会や小学生の体験発掘調査、展示会などを行い、「真福寺貝塚」の価値を発信していきます。 ・国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」衰退の危機を克服するために、遺伝的多様性の調査などの自然科学分析調査を行い、サクラソウ減少の原因を究明します。その上で、自生地再生に向けた「田島ヶ原サクラソウ自生地再生計画（仮称）」を策定し（令和6年度まで）、計画に基づき自生地の再生に取り組みます。 ・いかなる状況でも歴史文化資源の保存・継承・活用を持続できるよう、新たに「文化財保存活用地域計画」を策定します（令和5年度まで）。保存・継承・活用のサイクルを確立し、市民が歴史文化資源の価値を将来にわたって享受できるよう、保存・継承・活用を推進します。 						
目標指標		実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	見沼通船堀を知っている市民の割合	47.1% (令和2年度)	50%	52%	54%	57%	60%	令和7年度までに60%
(2)	真福寺貝塚を知っている市民の割合	6.4% (令和2年度)	10%	14%	18%	22%	26%	令和7年度までに26%
(3)	田島ヶ原サクラソウ自生地を知っている市民の割合	38.7% (令和2年度)	42%	44%	46%	48%	50%	令和7年度までに50%
(4)	さいたま市歴史文化資源12件のうち、市民一人当たりの認知数	4.7件 (令和2年度)	4.8件	4.9件	5.0件	5.1件	5.2件	令和7年度までに5.2件

事業	08-1-3-02	新たな視点で市史編さん						
重点戦略		他施策への貢献（再掲先）						
事業課	アーカイブズセンター							
事業目的	本市の歴史的変遷の過程を記録し未来へ継承するため、「さいたま市史」を編さんすることで、市民等の本市への関心と愛着を育み、市民文化の向上に寄与し市政発展の方向を示すとともに、歴史資料の収集保存を行い、市民共有の知的資源として活用を図ります。							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市をひとつの地域として捉える新たな視点で「さいたま市史」を編さんします。 ・歴史資料を収集・保存・活用します。 							
	目標指標	実績	各年度の目標					計画期間 最終目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1)	市史等の頒布冊数	771冊 (令和元年度)	840冊	880冊	920冊	960冊	1,000冊	令和7年度までの5年間で4,600冊
(2)	市民等の歴史資料の活用点数	299点 (令和元年度)	400点	410点	430点	460点	500点	令和7年度までの5年間で2,200点
(3)								

